



# 善正寺だより

掲示板法話

## お浄土に包まれている

## それぞれに命輝く世界が広がる



去る五月十五日、晴天に恵まれて親鸞聖人七五〇回大遠忌法要を無事お勤めさせて頂くことができました。

五十年に一度の大遠忌法要は宗門

至重しちゆうの法要(最も大切で、重要な法要)です。お荘厳は松一式の尊前立華に加えて、御絵伝前にも豪華な松一式の立華が寄進されました。出勤僧侶の装束も最高の礼装で、無言行道(諸僧が内陣を巡る)の作法には献華献灯の女性陣が同時に散華するオリジナルの演出も取り入れて賑々しくお勤めさせて頂きました。お参り下さったおばあちゃんが「この世のお浄土のような・・・」と感極まった表情で感想を漏らされました。「お浄土に包まれている」との実感、「これぞ大遠忌法要!」と喜ばせて頂きました。

「この世は五濁悪世。この世に生きる我々は煩惱具足の凡夫の境涯から脱することができないけれど、お浄土に包まれて生かされている。」「お念仏申す人生の尊さ、安らぎを教えてください。親鸞さま、ありがとう。」

〒:512-0902  
三重県四日市市  
小杉町1014  
浄土真宗  
本願寺派  
善正寺  
☎:059-331-1670  
fax:059-332-0733

このおばあちゃんのように「お浄土に包まれている」ことを肌で感じ取らせて頂くことにこそ、大遠忌法要の意味があるのだと思います。二百五十名もの応募、「ご参加を頂いたお稚児さんの写っている写真を見ると、歩き疲れて抱っこされるお子さんや、何度も衣装を直して下さる親御さんたちのご苦労ぶりが窺われます。ようやくたどり着いた本堂のご本尊さまに向かった可愛い両手を一生懸命合わせる幼児たちにも「お浄土に包まれる人生」が感受される第一歩となったのではないのでしょうか?

父の揮毫した「南無阿彌陀仏」の名号軸を前にお勤めさせて頂いた総代さん宅での稚児宿勤行。お仏壇横の框には沢山のご先祖方の遺影が懸けられ、「この方々のお念仏相続のお蔭で今日の尊い仏縁が頂けたのだ」と胸に迫り、親鸞聖人のお導きの歴史をひとしお有難く感じさせて頂きました。

しかし、「次の時代にはもうこんな大法要は勤められないのではない

か?」という声も聞こえます。少子化、都市化で後継者難の傾向は否定できません。でも、「本願力に遇わなければ人生は空しく終わるのですよ」と親鸞さまがご和讃の中でお示しです。「お浄土に包まれているお互いだ。全てのいのちがそれぞれに輝くことのできる世界が広がっている」ことを学びつつ、老いも若きも相携えてお念仏相続に共々努めたいと思います。

### 寄稿

- ・お粗末な華見でもらた八十爺やせじい
- ・御遠忌の稚児行列や燕舞う(釋俊悦)
- ・風薫る稚児行列のお練り哉(釋妙水)
- ・薫風や仏旗はためく稚児お練(玉)

### ☆行事ご案内☆

## ◇7月の門信徒会例会

### 7月17日(日)夜7時半

- ① 三重組十三日講の歴史と意味
- ② 家族葬、直葬化傾向の中の仏事



新年度門信徒会会長に服部則男氏、会計に館賢二氏選出  
新三重組仏婦会長に館正子様、門推役員に佐藤和義氏が選出  
新年度三重組連続研修に落合薫様(東坂部)が受講決定

◇絵手紙教室 7月12日(火)午前10時 庫裏食堂11回目

◇キッズサンガ 7/2(土)4時。鐘つきは毎夕5時年中無休

◇三重組コーラス 7/11(月)午後1時より 西勝寺様

◇三重組十三日講 7月3日、八王子西光寺様(竜尾實法師)

善正寺ホームページ「三重 善正寺」で検索。1年分の寺報閲覧。  
毎日更新のブログ「住職と坊守のつれづれ日記」が好評。開設7年11か月で20万8千訪問、一日約90訪問、悩み相談、大歓迎!即返信

◇『一縁会テレホン法話』059・354・1454お電話を!  
7/4~10日(坊守)、7/11~17日まで(住職)担当

◇6/24(金)『中部・北陸仏婦大会』名古屋金山元市民会館  
(館正子、服部やす子、服部つや子、館澄代、館小恵子、高橋智恵子、坊守の7名、他三全仏婦役員等3名)参加、敬称略

◇新納骨堂:後継者のない方、お墓でお困りの方ご相談下さい

◇法事場所でお困りの方、寺にご相談下さい。本堂使用可

☆館せつ子様(84歳・小杉)5月4日往生の素懐を遂げられました。合掌

ホットニュース

◇5月29日『門信徒総会&法要打上げ会』60名が参加、本堂で法要写真スライドショーを見た後、庫裏で宴会。飛騨の大吟醸で盛り上がりました。

◇打ち上げ会に埼玉川内様(ご恵送の「金子みすずクッキー」(山口河内先生施設作成)が「ご縁に感謝」のシールを付けてお土産として配布されました。

◇境内鐘撞き堂「ようこそ善正寺へ」の掲示板下に、法要写真集多数が6月末まで展示予定。「自由にご覧下さい」。

☆編集子より...2面に大遠忌写真掲載。

5・15 ご法要 写真集 第2弾 善正寺(三重・四日市) 2016.5.15



権見宿(親代館主宅)初行

立草寄道(親の代約50坪)

青空に五色旗・紅白幕 白いスロープが映える  
250名の権見・1000人の権見行列



役権見16名 稚衆10名も参加



伊崎栄一 伊崎顕次 館主夫人



坊主(おとし善正寺) 仏教讃歌の集い(混合智美林) 善正寺ファミリー5人の孫の権見に  
着加子のお世直し 歌(柳葉梨寛林)

五色旗(館主夫人) 太鼓(伊崎顕次) 鉦(伊崎栄一)



本堂は超満員 仏教讃歌と共に歌

次男と孫

在職と朱令(館主夫人)

高角稚衆衆10人の唐楽法要



権見の思い出は生涯忘れられない!

親に手を引かれ仏縁デビュー

人々人で溢れる境内

キボト(山本夏菜さん) 司会(飯島実渡さん)



献筆献灯 20名の女性達

おごせかぶ音楽法要

稚衆とキボトの共演 和讃の歌の高らかに響く



女性スタッフの行き届いたおもてなし

「こち、こち」と和やかな献筆

献筆献灯者20名が下陣で「敬華」に協力、大いに盛り上がる 記念講演 河内美舟先生(山口)

ご法要から一ヶ月以上が経ちました。ご法要前とご法要後の一ヶ月間を比べると時間の経つスピードが違います。カウントダウンしている時は時間の密度が濃く緊張感の連続でした。未だにその後遺症を引きずって夜中に目覚めることもしばしば。翌日の集合場所と時刻が分からず慌てふためく夢、一体中々くりでまぐるのはいつになることやら、いずれにせよ生涯忘れられることができない貴重な経験でした。ご講師さんが「運動感溢れるイリジナル性に富んだご法要でしたね。ご門徒様方の結束力の素晴らしさに感心しました」との評、住職と坊守、一部の門徒さんのお力だけで勤まるような法要ではありません。又一人が役割を持ってご協力して下さったおかげです。普通雅見行列に注目されがちですが、その間本堂は置いてきぼり。そこで歌手とピアノのリードで「仏教讃歌を歌う集い」を企画。娘たちよ函を初めて聞いた女性が「この歌で亡き父を思い出して父の願いを受け取りました」との感想。雅楽とキーボードのコラボによる音楽法要も大成功。20人の女性による献華、献灯と散華。何より見事な立華寄進が法要の魅力を増増。全てが善正寺を支えて下さる皆様のおかげです。高齢や病気でお参りできなかつた方のご恩も忘れてはなりません。250人のお雅見さんとご家族の新たな仏縁を頂き、これからも地域に必要とされるお寺、皆様と共に歩むお寺に参りたいと思っております。皆様から賜りましたご厚情とお志に仰れを申し上げます。ご協力ありがとうございました。

合掌

平成二十八年七月

善正寺坊守 拝